

施策番号 5-1-3	施策名 国際・地域間交流の推進	基本目標	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり		
		政策名	多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり		
	主管課	企画財政課	課長名	石田 哲	内線 220
	施策関係課	社会教育課			

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
友好都市との交流による人材育成と交流を通して得られる情報をまちづくりに活かします。		町民・交流都市の住民	・友好都市との交流に参加し、異なる文化に触れ、情報を得ることによって、他地域の歴史・文化、まちづくりの手法などを学ぶことができる				交流を通じたさまざまな視点と情報の連携によるまちづくりをすすめる
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度(予想)	2022年度目標	
① 他都市(トレーシー市・広尾町・揖斐川町)との友好・交流提携の事実を知っている町民の割合	住民意識調査	%	71.5% 48.2% 50.0%	75.5% 48.0% 60.7%	75.0% 50.0% 50.0%	75.0% 50.0% 50.0%	
②							
③							
④							
成果指標設定の考え方	①トレーシーについては町民の3/4、広尾・揖斐川については町民の1/2に知ってもらうことを目指す。						

## 2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算
施策事業費(千円)	9,990	13,358
人工数(業務量)	0.4363	0.5577

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2019年度の成果評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	揖斐川町については、職員の相互派遣を実施したほか、広報誌で特集を組んだことが影響していると思われる。
②2022年度の目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	新型コロナウイルス感染症の影響により、国際交流については、停滞することも考えられる。その状況によっては、新たな取り組みを検討する必要がある。
(2) 施策の成果評価に対する2019年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	国際交流推進事業 揖斐川町交流推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・揖斐川町との交流については、2019年度から職員の相互派遣を開始したほか、広報誌において特集を組んだ。 ・国際・地域間交流については、外から芽室町を見る視点としても有効であり、シティプロモーション推進の観点からも、広報・周知活動を強化した。		

**(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果**

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

**4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等**

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》 人口対策を進めるためには、郷土愛の醸成が効果的であり、そのためには、外からの視点で芽室町を見ることも重要である。</p> <p>《今後の予測》 認知度向上に向けて、交流内容などの周知手法を検討することが必要。 地域間交流は人的交流から経済交流に発展させるのが一般的であるが、行政の積極的な関与も重要である。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし

**5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流・地域間交流ともに、人材交流・物産交流・経済交流などに結び付けていくことが大きな目標であるが、各交流とも事業が定例化しているなかで、JA同士の協力関係が構築され、今後の経済交流が期待される。</li> <li>・郷土愛の醸成のためには、外からの視点で芽室町を見ることも重要であり、そのためには、友好都市との交流を積極的に活用することが効果的である。</li> </ul>
---

**6. 総合計画推進委員会(庁内評価)**

評価	揖斐川町との職員相互交流や、広報誌の特集ページを組むなど、認知度向上に向けての取組を行っており、策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	国際姉妹都市、国内地域間連携の認知度向上に向けた取組を継続して行ってほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 実現した</li> <li>B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</li> <li>C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した</li> <li>D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない</li> <li>E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した</li> </ul>					

**7. 総合計画審議会(外部評価)**

評価	様々な視点や手法で郷土愛の醸成を図っており、策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	・施策の評価は知名度・認知度で図るのではなく、芽室町に関わっている人の意見を聞くべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 実現した</li> <li>B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</li> <li>C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した</li> <li>D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない</li> <li>E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した</li> </ul>					